

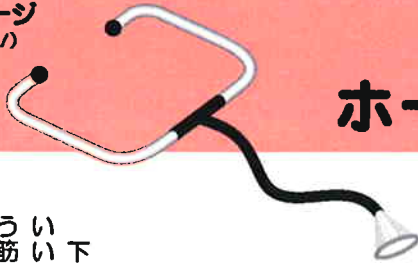
■ 相談受け付けています

家族の病気のこと、女性ならではの体の悩みなど、医師に聞いてみたいことを、  
〒700-8834 山陽新聞社 広告局 企画開発室  
「レディアホームドクター係」まで郵便でお寄せ下さい。  
メールで送る場合は [ledya-doctor@sanyo.oni.co.jp](mailto:ledya-doctor@sanyo.oni.co.jp)へ。  
プライバシーは厳守いたします。

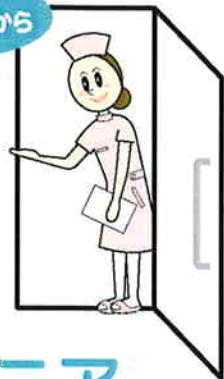
■ レディアホームドクターのホームページ

山陽新聞ホームページ (<http://www.sanyo.oni.co.jp/>)  
内にある特集◆暮らしのホームドクターをご覧ください。

# レディア ホームドクター



診察室から



## ソケイヘルニア (脱腸) について

下腹部のものの付け根の部分をソケイ部といいますが、腸などの臓器は、お腹の筋肉をおおう筋膜がしっかりとついているれば、通常外へ飛び出してくることはありません。ところが、特に大人のソケイヘルニア(脱腸)は、本来ならお腹の中にあるはずの小腸などの一部が、ソケイ部の筋膜の一部が弱くなったため、その弱くなった筋膜の間から皮膚の下に出てくる病態です。ちょうどタイヤの弱くなった部分から、内部のチューブが突き出ているのに似ています。

患者さんは、特にものの付け根の筋膜が弱くなる40歳以上の男性に多く起こる傾向がありますが、女性にも起こります。

ソケイヘルニアが起ると、立った時とかお腹に力を入れた時に、ものの付け根の皮膚の下に小腸などが出てきて柔らかいはれができます。普通は横になったり、指で押さえるとはれは引込みます。内容物が出たり入ったりしている間はたいがい、ソケイ部に軽い痛みやつっぱり感が起こる程度です。

しかし内容物が飛び出して押さえてもとどらなくなると、このはれが急に硬くなる、お腹が痛くなったり吐いたりします。これをヘルニアのカントンといいます。飛び出した内容が腸の場合には飛び出した腸が筋肉で締め付けられ、腐って出血する場合があり、急いで手術をしなければ命にかかわるようになります。

ヘルニアは自然には治りません。薬や脱腸帯でも治りません。手術をすれば治ります。従来はヘルニアが出てくる部分の両側の筋膜を縫って寄せぬ手術が行われていましたが、最近で



はヘルニアの出口をメッシュという人工の膜でふさぐ手術が行われています。つまり、メッシュで弱った部分の筋膜を補強し、腸などが出なくなるのを防ぐ手術です。

メッシュを使った手術では、体の組織に過度の緊張がかからないため、術後の突っ張り感や痛みが少なくなります。また従来の手術法に比べ、手術時間が短くて済み、術後の再発も少なくなっています。術後の痛みが少ないため、入院期間は以前より短期間で、日帰り手術も可能です。仕事を休む期間も少なくて済みます。

ソケイヘルニアの手術は通常外科で行われますが、最近では全国各地で日帰り手術や術後1、2泊の短期滞在手術を専門に行う施設が増えてきています。ソケイヘルニアの症状がある方は早めに専門医を受診してください。



解説医師  
江田 泉 先生

Profile

医療法人操仁会 岡山第一病院 診療部長  
医学博士  
1987年岡山大学医学部卒業、同第二外科に入局。  
公立豊南総合病院、府中総合病院外科部長などを  
経て、2007年4月より現職。ソケイヘルニアの日帰り手術などにも取り組んでいる。  
外科専門医。消化器外科専門医。

岡山市高屋343 TEL.086-272-4088  
URL:<http://www.okayama-deiichi.jp>  
e-mail:[hernia@okayama-daiichi.jp](mailto:hernia@okayama-daiichi.jp)